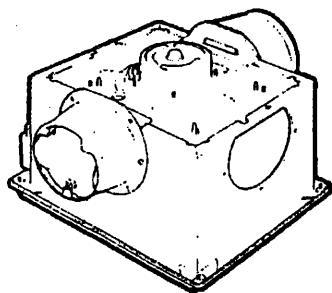
三菱ダクト用換気扇（中間取付3方向吸込形）

V-15ZFM2

取扱説明書

上手に使って上手に節電

ご使用の前に必ずこの取扱説明書をお読みください。

ご使用の電気品の説明書は保存しておいてください。

万一、ご使用中にわからないことや不都合が生じたとき、きっとお役にたちます。

三菱電機株式会社

8503A⊕R
588H52873

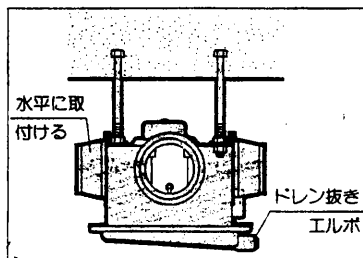
1 別売部品

● 補助グリル……………………P-13GL・P-13G

2 接続ダクト

● 塩ビパイプ・アルミスパイラルダクト・鋼板管のφ100（4番）管

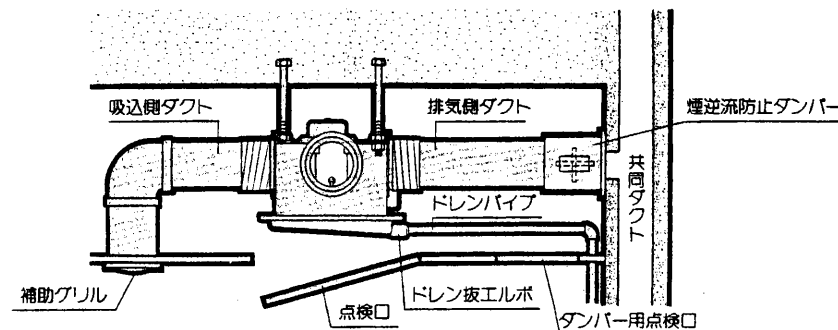
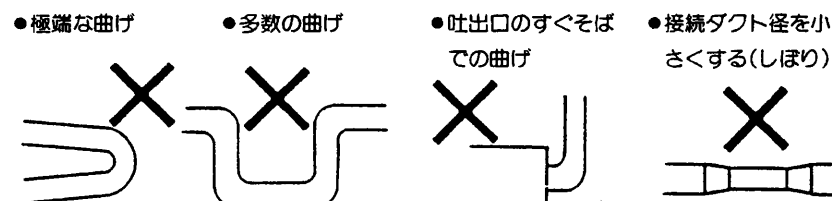
3 取付上の注意

● 本体の取付けは、ドレン抜きエルボを下側にして、必ず水平に取付けてください。

● 配線工事は、専門の電気工事店へご依頼ください。
特に、浴室の換気を行なう場合は、絶縁関係に支障のないように行なうと共に、必ず接地工事（アース取付け）を行なってください。

● 浴室など湿気の多いところで使用し、ドレン処理の必要がある場合は、ドレンキャップを外し、呼径13用パイプをドレン抜きエルボに差込みドレン処理を行なってください。
（水漏れのないよう工事を実施してください。）

● メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属張りの木造物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクト・換気扇及びベントキャップなどの金属部分とメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないように取付けてください。（電気設備技術基準による）

● 取付けが不充分ですと、騒音を発生したり共鳴することがありますので、しっかり取付けてください。

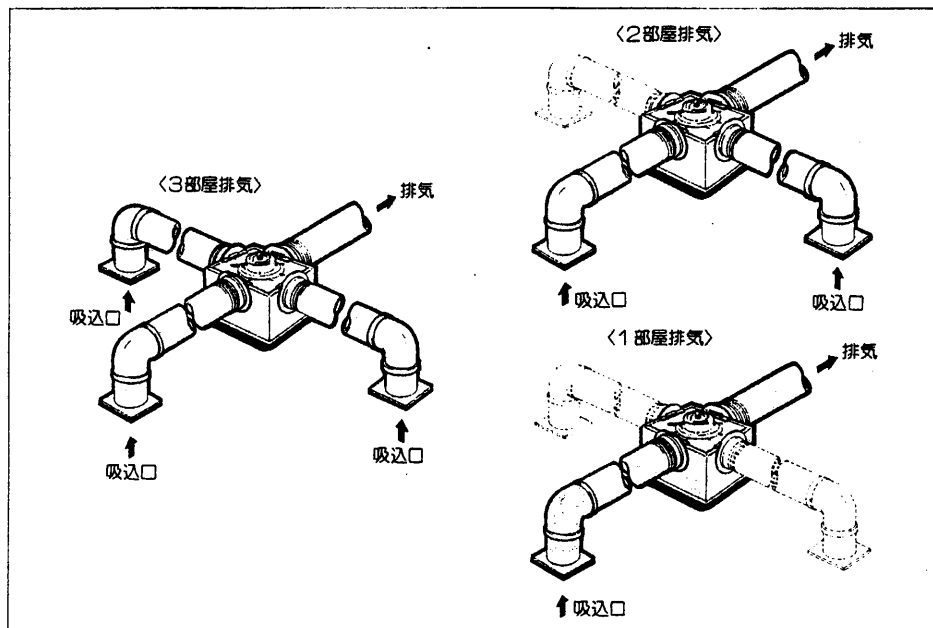
● 共同ダクトへ排気する場合は、建築基準法施行令により防火の役割りを果たすものを使用しなくてはならないよう義務づけられていますので、2mの鋼板立上がりダクトを取付けるか、別売部品の煙逆流防止ダンパーを取付けてご使用ください。

● 次のようなダクト工事はしないでください。

● ジャバラ（別売部品）の使用については、地区により異なった規制を受ける場合がありますので、あらかじめ所轄の官公庁（特に消防署）にご相談ください。

● 排気ダクトは、雨水の浸入を防ぐため屋外に向けて1/100以上の下りこう配をつけてください。

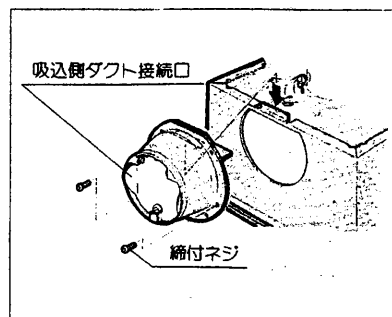
● 排気ダクトの先端には、鳥や虫などの侵入を防ぐためのベントキャップ(別売部品)または、雨水などの浸入を防ぐためのウェザーカバー(別売部品)などを取付けることをおすすめします。

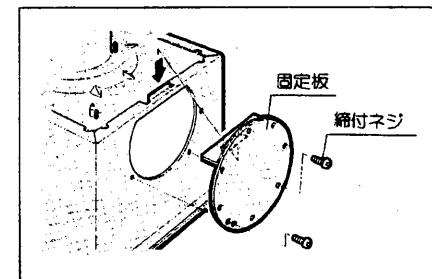
● 密閉された建物では、汚れた空気を排出するとき新鮮な空気の入るところが必要です。換気扇吸込口の反対側に空気取入口を設けてください。

4 取付方法

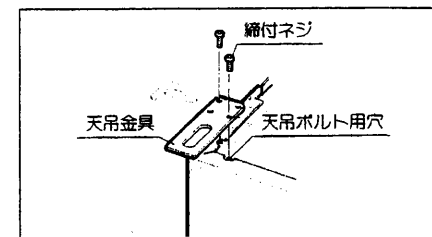
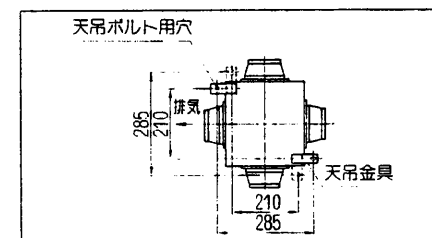
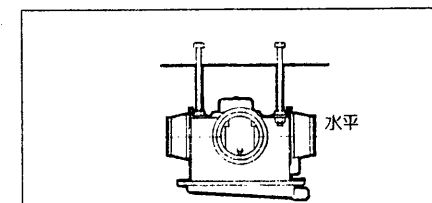
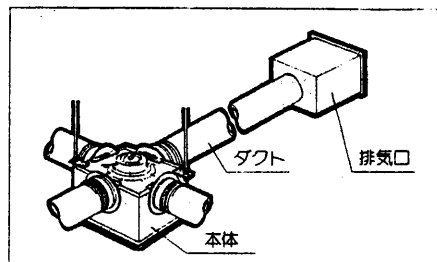
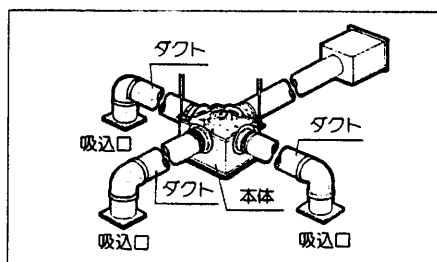
このダクト用換気扇は、3つの部屋の換気を同時にできるように構成していますが、1部屋2部屋でも可能です。

1. 部屋の数・位置により排気方向及び吸込口の数・方向を決めてください。

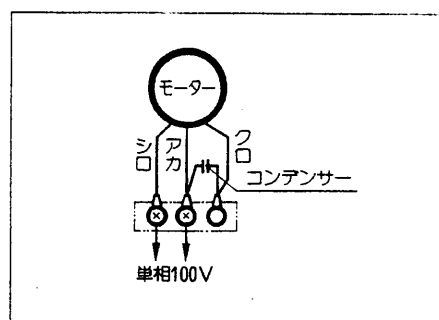
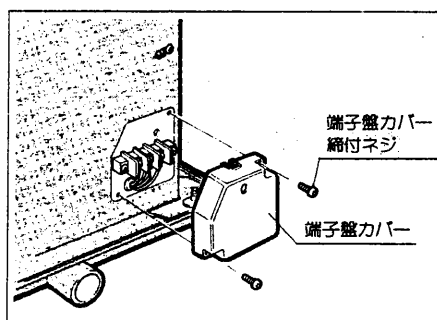
2. 吸込側ダクト接続口を取付けてください。(排気ダクト接続口は工場出荷時に本体に取付けてあります。)

- 「吸込側」と表示してあるダクト接続口をシャッター軸を上にして本体に付属の締付ネジ(2本)で取付けてください。このときに、本体の突起部に引っかけるようにして取付けてください。

ご注意

- 吸込口は3方向ありますので、必要に応じて数・位置を決めてください。不要な吸込口は付属の固定板でふさいでください。

3. 換気扇を取付けてください。

- 製品重量が4.5kgありますので重量に充分耐えるような取付工事を行なってください。

(1) 天吊金具は右図のように付換えることができます。

(2) 右図を参照してアンカーボルト(市販のM8又はM10)を埋込んでください。

(3) 本体が水平になるように、本体をアンカーボルトに取付けてください。

4. 本体排気側ダクト接続口から壁面排気口（壁穴）までのダクトで接続してください。

5. 本体吸込口から、各部屋の吸込口までダクトを接続してください。

6. 電源コードを接続してください。

(1) 端子盤カバー締付ネジ（2本）をゆるめ端子盤カバーを外し、端子盤に接続してください。

(2) 浴室などの湿度の高いところの換気をする場合は、必ず接地（アース）工事を行なってください。

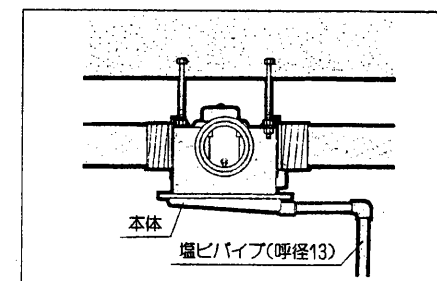
(3) 端子盤カバーを取付けてください。

7. ドレン抜き工事を行なう場合

● 浴室など湿度の高いところの換気をする場合には、必ずドレン抜き工事を行なってください。

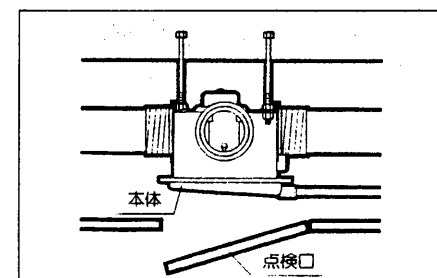
(1) ドレン抜きエルボの向きは底板を付換えて決めてください。

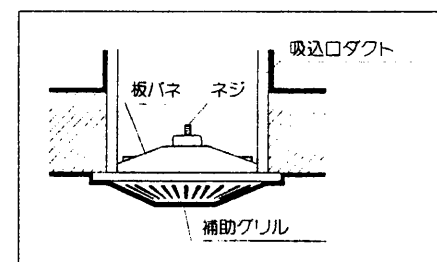
(2) ドレン抜きキャップを取外してください。

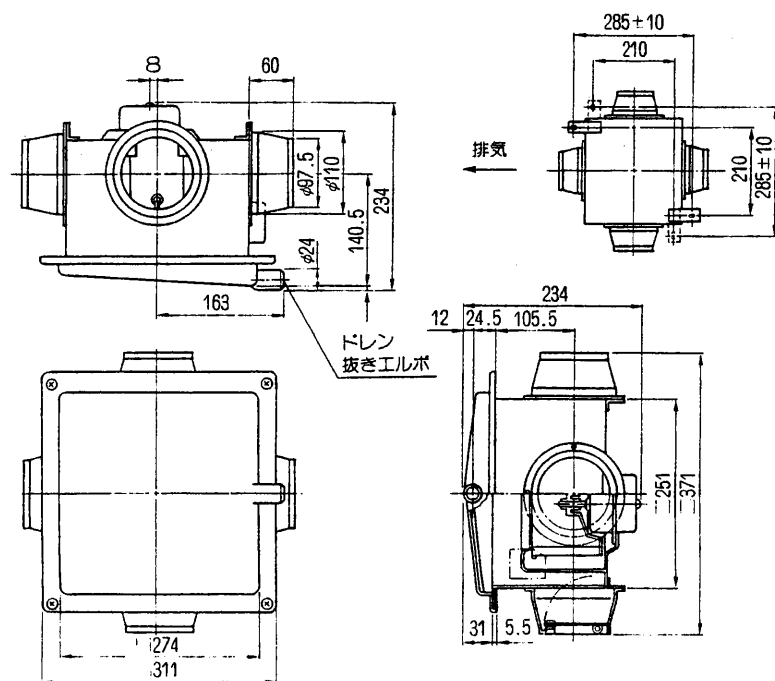
(3) ドレン抜きエルボの差込径13ですので、呼径13用塩ビパイプで接続してください。

ご注意

● ドレンパイプから水漏れがないようシール剤を塗布して行なってください。
● ドレンパイプの他端は、必ず排水可能なところまで出してください。
● ドレンパイプの途中に水がたまるようなへこみを作らないでください。
● ドレンが流れやすいように、ドレンパイプは下り勾配をつけてください。

8. 天井板をはってください。

● 換気扇本体下面の天井に換気扇などの点検用の点検口を必ず設けてください。（点検口は換気扇を取出せる大きさにしてください。452㎜×452㎜）

9. 吸込口に補助グリル（別売部品：P-13GL・P-13G）を取付けてください。

● 換気扇本体から部屋までダクト工事が完了しましたら、吸込口ダクトに補助グリル（別売部品）を差込んでください。

外形寸法図と付属部品

■外形寸法図

■付属部品

● 取付工事を始める前に、付属部品をご確認ください。

吸込シャッター部（3個）	固定板（2枚）	締付ネジ（6本）

6 各部の名称

天吊金具

締付ネジ

天吊金具

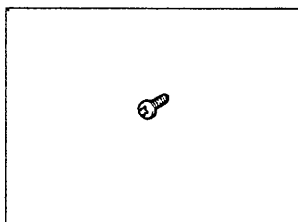
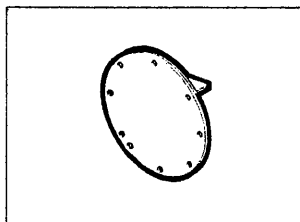
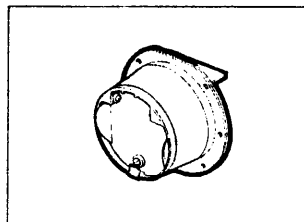
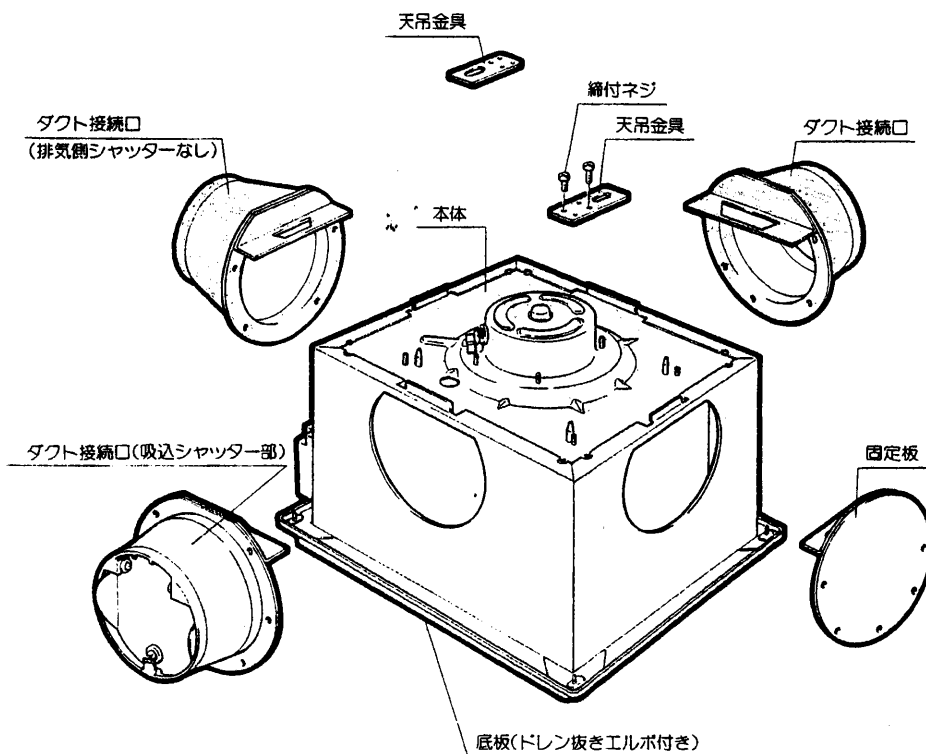
ダクト接続口
（排気側シャッターなし）

ダクト接続口

本体

ダクト接続口（吸込シャッター部）

固定板

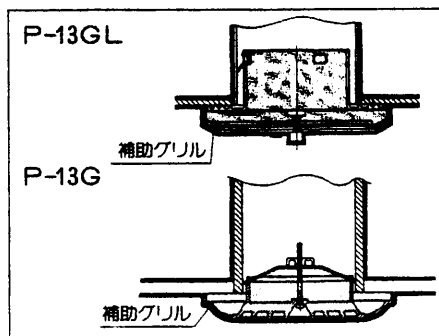
底板（ドレン抜きエルボ付き）

7 お手入れのしかた

- お手入れの際は、必ず電源を切ってから行なってください。
（回転部に接する場合は、他の人がスイッチを入れないように処置してから行なってください。）

- お手入れのときは、板金部品などの切り口により手を切る場合がありますので、厚手の手袋を着用して行なってください。

- 補助グリルにホコリなどが付着しますと、風量低下や異常音発生の原因となりますので、ときどき清掃してください。

- 補助グリルを外すには、次の方法で行なってください。

1. P-13GLの場合は、左右のツマミネジ（2本）を外して補助グリルを外します。
2. P-13Gの場合は、中央の締付ネジ（1本）を外して補助グリルを外します。

- 補助グリルの汚れは、ぬるま湯にひたした布をかたくしぼってふいてください。汚れのひどい場合は、石けん水（中性洗剤）を含ませた布で汚れを落とし更に乾いた布でふき取ってください。

ご注意

- 送風機部分の油汚れが著しくなり、異常な振動・騒音が発生した場合は、最寄りの「三菱電機お客さま相談センター」へご相談ください。ご自分での分解清掃は行なわないでください。

- モーターなどの電気部品は水にぬらさないでください。絶縁不良となり漏電などの原因となります。

- プラスチックや塗装面の清掃には、次の薬品などは使用しないでください。色があせたりつやがなくなることがあります。
揮発性の溶剤（ガソリン・シンナー・アルコール・ベンジン・灯油など）、スプレー、化学ぞうきん、みがき粉など。

8 部品保有期間とアフターサービス

■部品保有期間

換気扇の補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切後6年です。
この期間は通商産業省の指導によるものです。
性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■アフターサービス

三菱ダクト用換気扇のアフターサービスは、お買上げの販売店へお申付けください。
なお、ご不審のときは当社のご相談窓口（取扱説明書同封一覧表の最寄りの三菱電機お客さま相談センター）にお問合わせください。